

# 台東育英

台東区立台東育英小学校

No. 10 統括校長 瀬下 清

<http://www.taitocity.net/taitouikuei-s/>

## 一人一人を大切に～大根を育てるように～

副校長 大迫 利江

### 「人を育て申す心持ちは、菊好きの菊を作り候様には致すまじき儀

### にて、百姓の菜大根を作り候様に致すべき事に御座候」

江戸時代の儒学者、細井平洲が書いた『鹿鳴館遺草』という教育の本の中に出てくる文です。「菊好きの人は、見事な花を咲かせるために、枝を切り取ったり、つぼみを摘み取って花の数を調整したり、背丈が伸びないように加減したりして、自分の思い通り育てる。そして、秋には見事な菊が一輪咲く。一方、農家の大根作りは、全ての株を大事にする。大きいもの、小さいもの、不揃いのもの…全部を大事に育てて、みな美味しく食べられるようにする」という意味です。菊作りは、自分の好みに合うように、あれこれと細工を加えます。花が開く前のつぼみは、一番綺麗に咲きそうな一つだけを残して、全部摘んで捨てます。これから伸びようとする芽をイメージ以上に伸びていかないようにと摘んでしまうのです。子供を育てるときに、このような方法はいけなと言っています。

さて、学校では今年度の台東育英小学校での教育活動を振り返り、2025年度の教育活動の計画を練る時期となりました。新しい時代の学校行事の在り方が見えてきたような気がしています。新しい時代に必要な考え方は、「前例踏襲（今までずっとやってきたこと）」、「思考停止（今のままで何か問題はるか）」、「固定観念（うちはこうすることになっている）」、そして「自己制止（自分には無理だから変えない）」という4つのリミッターを払拭していくことです。教職員は計画を立て、この演目で普段の学習の経過や成果が見えるか、発達段階にふさわしいか、安全管理と健康管理はこれで万全かを考えています。次年度もさらに、子供や新しい時代に合うものにしていきます。

大河ドラマでは、主人公に台東区ゆかりの「蔦屋重三郎」が取り上げられました。改めて、自分たちの暮らす土地の歴史を知るきっかけにもなりました。子供たちが郷土の良さを自分たちの子供に継承し、それが繰り返されて千年紀を超えて偉人について伝わっていくことがSDGs、郷土愛につながっていきます。重三郎の「環境」の中には、様々な個性や考え方で生きている人がいました。「環境」とは空間的な意味だけではなく人の考えや姿勢も含みます。教育とは一人一人の条件が違ってその子に合った方法で手を差し伸べることです。保護者、地域の皆様と共に目指す教育の理想の一つに「大根作り」の姿があると考えています。



#### \*\*\*本校統括校長 「歌会始の儀」に参列 \*\*\*

1月22日（水）、皇居正殿松の間で行われた「歌会始の儀」に瀬下校長が、陪聴者として参列しました。「歌会始の儀」とは、年の初めに天皇皇后両陛下をはじめとする皇族方や入選した人が共通のお題（今年は「夢」）で詠まれた歌を披露する宮中行事です。

## 本校の校内研究について

研究主任 町田 広美

本校は、昨年度から、「一人一人が自信をもって生きることのできる児童の育成～考え、議論する道徳科授業の展開～」という主題で、道徳科の研究を行っています。子供たち一人一人が道徳的な価値について自分事として捉え、友達と話し合いながら、自分の考えを深めていく……そんな姿を目指して、日々の道徳の授業に取り組んできました。

研究を通して、子供たちが主体的に道徳の授業に参加するようになり、自分の意見を積極的に伝えたり、友達の意見を自分の考えと比べながら聞き、思いを深めたりする姿も見られるようになりました。何より、道徳科の授業が「楽しい」と感じる子供が増えてきました。

今後も、道徳科の授業の充実を図り、子供たちの「生きる力」をさらに育てていきたいと思っています。

## 「台東区立小・中学校連合作品展」について

図画工作科 秋庭 祐子

令和7年2月14日（金）から2月19日（水）まで、東京都美術館にて連合作品展が開催され、区内の各校から選出された作品が展示されます。今年度、台東区図工部は『図工の時間は豊かです。～豊かに「めぐらす」姿から～』を研究テーマに、各校での実践と授業検証を行ってきました。図工の時間に心を動かしたり、考えたりしながら楽しくのびのびと表現に取り組む様子を、ぜひ子供たちの作品から感じ取っていただくと幸いです。

本展覧会では図画工作科の作品の他に、書写・家庭科作品も展示されています。台東区の連合作品展の期間中には、同じフロアで東京都公立学校美術展覧会（都展）も開催されています。ご都合が合えばぜひこちらをご覧ください。

### 書き初め作品展示のお知らせ

1月14日、15日に行われた席書会では、集中して丁寧に字を書く児童の姿が見られ、冬休みに練習した成果がどの作品にも表れていました。道具の準備等、ご協力ありがとうございました。

さて、今年度は多くの皆様にお子様の作品を観ていただける試みとして、児童用タブレット上に掲示する方法で展示を行います。お子様の学年の作品が閲覧できます。なお、個人情報取り扱いの観点から、画像の撮影等は行わないでください。お子様の作品は後日返却致します。

#### 【閲覧方法】

「まなびポケット」の「スカイメニュー」から「発表ノート」を開くと、お子様の学年の作品がクラスごとに掲示されており、全クラス分観ることができます。1月27日（月）より、閲覧可能となっております。ぜひご覧になってください。